

ねいの里 ホォホォニュース



ねいの里の植物を知りつくしておられる

花じ〜こと 石澤岩央さんに昨年で印象に残った植物についてのお話です。

平成 19 年 ねいの里トピックス “帰ってきた植物たち”

かつて明るい森だったねいの里。しかしソヨゴやヒサカキなどの常緑樹が繁茂してだんだん暗くなっていました。その森を明るい里山に戻そうと、平成 14 年秋に里山再生がスタッフとボランティアの皆さんによって始まり 5 年が経ちました。ねいの里は静かに、そして着実に里山の植生を回復しているのですが、その中から平成 19 年に帰ってきた植物たちをご紹介します。

<センブリ> “千回振り出してもまだ苦い” からセンブリと言うようになったように、本当に苦いのです！「良薬口に苦し」って本当なんですね。昔おなかをこわした時あまりにも苦いので「今度からゲンショウコにして欲しい」とおばあちゃんにお願いしたのを思い出してしまいます。富山県では危急種に指定されている貴重な植物で、自然塾の会の皆さんが「落ち葉のベッド」用に落ち葉掻きをしていて 1 株だけ見つけました。きっと周りが明るくなって昔の種が芽生えたのですね。



<コアジサイ> 富山県では西部に多い低木ですが、ねいの里では木はあるものの、私はこれまで花が咲いたのを見たことがありませんでした。ちょうど上に大きな木があったりして、お日様が当たらなかったのです。そこで職員の満保さんが枝打ちをしてくださったり、自然塾の会の皆さんも周りを明るくするのに協力して、やっとのことで花が咲いたのです！そのとき皆の歓声がねいの里に響いたのは言うまでもありません。アジサイのような派手さはありませんが、ちっちゃなお

花が集まってとても愛らしいですね。

<オケラ> 5 年前に一度ねいの里で見て、次の週には根っこごと掘られてしまいました。カモシカが食べたのか、はたまた盗掘されたのかは分かりません。県の絶滅危惧種になっており、ねいの里では早くも絶滅？とっておりましたが、職員の丸山さんが見つけられました。魚の骨のようなのに囲まれた花がとても面白い形です。

地下茎はお屠蘇に使われたほか、薬にも使ったとのことですが、最近お屠蘇なんて飲んだことも無いのは私だけ？ねいの里ではまだ雌株しか見つかっていません。

お〜い、花婿さん、出ておいで！



活動をふりかえり

木の実を集めてクラフト作り (11 月 3 日) 藤井徳子さん

いつもお散歩しているねいの里の森ですが、今日はクラフト作りのために博物館の周囲をぐるっとまわっただけでいろんな実が見つかりました。いつもながらナチュラルリストさんと一緒なので、木、木の実、花、鳥、虫たちのことなどあらゆる質問にも答えていただけ、学び多くありがたいことです。子供たちはやわらかい発想で、熟年のいぶし銀のようなしぶとさで、それぞれに素敵な芸術の秋を満喫できました。ありがとうございました。



落ち葉ベット・焼き芋会 (12 月 1 日) 藤井陽加さん

落ち葉のベッドはふかふかだったけど、おもいきりジャンプして飛び込んだら痛かったです。落ち葉にもぐったら葉っぱのにおいがして、虫さんになった気分でした。焼き芋は、アルミホイルも新聞紙も使わずに、そのまま灰の中に埋めて焼きました。すると焦げずにとてもホクホクしておいしくできました。

キノコ作りにトライ (12 月 2 日)

キノコの専門家の高畑先生 (林業試験場研究員) にキノコの説明やコナラの木への



2 年後が楽しみです。
お月夜とバーベキュー会 (10 月 6 日)、
キノコ汁を愛でる (10 月 14 日) の行事が行われました。

里っこ山っこ「イモリ」

にっこにこ ジュニアナチュラリスト 田原 胤 君

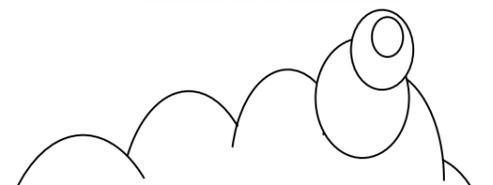


今回は、熱心にねいの里へ通っている

ジュニアナチュラリストの田原君からの一言です。

僕はねいの里に行って、いろいろな事を学びました。1 番の思い出は、僕が好きな生き物の「イモリ」がねいの里にいると言う事を聞いて、僕はねいの里へ行きました。イモリを観察したかったので、ねいの里で観察することしました。ねいの里から 3〜4 匹もらいました。

それから 1 年間、イモリの事を調べました。例えば、5〜6 月ごろに卵を産みます。イモリは湿度が大事なので、ミズゴケもいれてました。パソコンなどでも、イモリのいろいろな事が、分かってよかったです。今度は、サンショウウオの事を調べたいと思っています。ねいの里でいろいろな事を学べてよかったですと思いました。



自然塾の会

(ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

毎月第1土曜日が活動日です。

塾の会活動日の参加予約はいりませんが、ねいの里との共催行事は予約が必要です。

お気軽にねいの里へお越しください！ (都合のよい時間だけの部分参加も歓迎です。)

昼食は各自ご持参ください、炭焼き小屋の囲炉裏をかこんで食べましょう。

1月5日(土)	2月2日(土)	3月1日(土)
○ 午前11時半～ 「おぞうに会」	○ 午前10時～12時 冬の自然体験(共催行事) 「古代米でハンゴウ炊飯」	○ 午前10時～11時半 塾の会総会
新年をみんなでおぞうにを食 べながら祝いましょう。	古代米をみんなで味わい昔の生 活に思いをはせてみませんか。	今年度の総括。みなさんどしど しご参加ください。
参加者/定員なし	参加者/定員なし	参加者/定員なし

■ お願い ■

新年度の会員継続手続きをお願いしています。

～ねいの里行事案内～

1月4日(金)～6日(日)
9:00～17:00【ねいの里】

春の七草を愛でる(七草の頒布)共催行事
(限定100パック)

正月に一年の無病息災を祈って七草を食べる古くからの習慣に
ならない、季節の野草を楽しんでもらうために、限定100セットを
頒布しました。



- ネチャーフォト展2 自然塾の会写真展 11月21日(水)～3月17日(月)
ただ今、開催中です。皆様、ご覧ください。
- 春の七草を愛でる(七草の頒布:100セット) 1月4日(金)～1月6日(日)
- 春からはナチュラルリストの自然解説で野外観察 たのしさ倍増!
4月29日からの土日・祭日の10:00・13:30・15:00～を予定しています。
展示館前から出発しますので、是非、ねいの里へお越しください。

発行 生き物ふれあい自然塾 塾長 湯浅純孝

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1 自然博物館ねいの里内

Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

ふくろう通信

第8号
2008年1月1日
生き物ふれあい自然塾



今日のふくろう先生

満保 清憲さん(ナチュラルリスト)

「子供たちと木の実でクラフト作り」

～今年の冬は秋の木の実を利用して

クラフト作りに挑戦してみましよう!～



今年の干支のネズミ

実りの秋は楽しい季節、木々や草花にとって1年の総仕上げ、子孫に伝える大仕事かもしれません。この実りは、人間をはじめ生き物たちにとってこれまたまちこがれる季節です。いろいろな形や色、そして味。早く取って食べてと言わんばかりにも見える。勝手な思いで私もドングリやマツボックリなどで、クラフト作りを楽しませてもらっています。自分だけではもったいないと、すばらしい自然のウンチク話をしながら、園児・小学生対象に作っています。私はクラフト作りをとおして、自然の素晴らしさを子供たちに知ってもらえればと思っています。

また、私はクラフト作りをとおし、子供たちからお返しをもらっています。子供たちからいろいろなアイデアをもらい、若々しい活力も与えてくれます。教えるよりも教えられることが多いのです。ボケの早い今日この頃、今年の冬はこのクラフト作りで若返りたいものです。

～満保先生の作品紹介 左からタヌキ、フクロウ、リス、クマ～



自然情報 春の七草(写真3種のみ紹介)

なずな(ナズナ)	おぎょう(ハハコグサ)	仏の座(コオニタビラコ)
「セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロこれぞ七草」と言われ、人日の節句(1月7日)の朝に、7種の野菜が入った粥を食べる風習のことです。		